

「SPRing-8 ワークショップーSPRing-8 とユーザーのさらなる連携を目指してー」

計測分野 プログラム

計測分野は、計測手法・計測対象が多岐にわたり、日常から密接な議論をする機会が少ないユーザーが参加する。一方、マルチ計測による物質や現象の理解の深化など、連携によるブレイクスルーも期待できる。本ワークショップでは、専門外にも理解しやすいよう、基礎的な部分からの導入も含めた講演（18分）を行い、自由かつ活発な議論（7分）を行う。

1日目 2014年2月1日（土）

オープニングセッション（会場：普及棟大講堂）

13:15～13:55 オープニングセッション（全体会合）

来年度の SPRUC 研究会組織の概要説明等

上坪講堂に移動

計測分野セッション（会場：中央管理棟上坪講堂）

計測分野開会

14:00～14:10 計測分野の開会挨拶・研究会の在り方と連携について（世話人：水木純一郎）

セッション1：放射光先端分光の開発と物質評価への応用1（座長：水木純一郎）

14:10～14:35 三井隆也（日本原子力研究開発機構）

「核モノクロメーターを用いた先進的放射光メスバウアー分光法の現状と展望」

14:35～15:00 増田亮（京都大学）

「内部転換電子用検出器を用いた放射光メスバウアー測定法の計数改善」

15:00～15:25 伊藤嘉昭（京都大学）

「X線スペクトルのサテライトの起因ー第3世代放射光と高分解能X線分光器を用いてー」

15:25～15:45 コーヒー・ブレイク

セッション2：放射光先端分光の開発と物質評価への応用2（座長：壽榮松宏仁）

15:45～16:10 James Harries（日本原子力研究開発機構）

「SCSSにおけるヘリウムガスの超蛍光の観測」

16:10～16:35 (30分) 永谷清信（京都大学）

「SACLAのフェムト秒XFELパルスによる原子・分子・クラスターの多光子吸収ダイナミクス」

セッション3：放射光先端計測による放射光活用（座長：壽榮松宏仁）

16:35～17:10 壽榮松宏仁（SPRUC研究会組織検討作業部会）/松下智裕（JASRI）

研究会活性化と施設との連携による研究推進加速についてのコメントと討論

17:10～ チェックインなど

18:30～19:30 合同懇親会（食堂）

2日目 2014年2月2日（日）

セッション4：放射光分光計測による物質・材料評価（座長：藤原明比古）

9:00～9:25 池本夕佳（JASRI）

「高輝度赤外放射光を利用した研究成果」

9:25～9:50 村上大樹（JST-ERATO高原プロジェクト、九州大）

「高分子電解質ブラシ表面の液体濡れ性に関する赤外分光測定」

9:50～10:15 福島整（NIMS）

「高分解能特性X線分光の状態分析への応用」

10:15～10:30 休憩

セッション5：放射光イメージングによる物質・材料評価（座長：八木直人）

10:30～10:55 梶原堅太郎（JASRI）

「白色X線回折イメージング」

10:55～11:20 小林正和（豊橋技術科学大学）

「高輝度放射光を使ったX線CTによる構造材料評価の応用例」

11:20～11:45 上相真之（JAXA）

「はやぶさ帰還試料の放射光分析と、はやぶさ2に向けての新規手法開発」

セッション6：セッション討論（オーガナイザー：壽榮松宏仁）

11:45～12:10 計測分野総合討論

12:10～13:00 昼食

普及棟大講堂に移動

全体総合討論（会場：普及棟大講堂）

13:00～14:00 総合討論（全体会合）

BLの高度化やSPring-8次期計画に関する議論など

閉会